

高知の河川防災技術を開発途上国へ

－ 蛇籠(じゃかご)の知見を生かしたネパールでの技術協力 －

このたび、国際協力機構(JICA)が実施している「草の根技術協力事業」において、国立大学法人高知大学から提案のあった「住民参加で行う低コスト型蛇籠護岸の普及と河川防災活動支援事業」が採択され、2021年8月16日より開始されます。これに伴い、2021年8月18日14:30より高知大学朝倉キャンパスに於いて事業説明会を行います。

本事業の対象国ネパールのゴルカ郡は、2015年4月25日にM7.8を記録したネパール地震の震源地であり、同地震では多くの死者や負傷者、道路や橋梁が遮断されるなど甚大な被害を受けました。ネパールの中山間地域は急峻な地形で形成されており、豪雨や地震による斜面災害が多く発生しています。また毎年6月～10月の雨季には集中する降水により河川が氾濫し、これまでに多くの人命や生活基盤が失われてきました。

本事業では、高知県の防災対策と高知大学の知見を活かし、現地河川における洪水などの激甚型災害に対する防災蛇籠の設計・施工を通して、現地技術者への技術移転を行います。

さらに、日本およびネパールの技術者の協働のもと、地域洪水ハザードマップの作成や、住民を対象としたワークショップや災害図上訓練を行うことで、現地住民の防災知識を啓発するとともに、自律的な防災活動の体制構築を目指します。

是非、取材をご検討ください。



洪水が頻発するネパールの河川(ネパール国Birdi地区)



品質が劣り機能が失われた蛇籠護岸
(ネパール国スコンシ川)



中小河川に整備された蛇籠護岸(高知県の町、南ノ川)

【本件に関する問い合わせ先】

◆草の根技術協力事業について

JICA 四国 業務課 担当：内島

TEL 087-821-8827 FAX:087-822-8870

e-mail: Uchijima.Mitsutaka@jica.go.jp

◆プロジェクトの内容について

高知大学研究推進課 担当：横山

TEL：087-841-8117 FAX：088-844-8926

e-mail: kusanone@kochi-u.ac.jp